

## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月2日

上場会社名 シンポ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5903 URL <https://www.shinpo.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 紀彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田口 茂樹 TEL 052-776-2231  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

## 1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	3,767	14.9	577	10.8	584	9.7	375	4.4
2023年6月期第2四半期	3,278	2.9	520	10.0	533	9.7	359	52.6

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 434百万円 (14.6%) 2023年6月期第2四半期 379百万円 (61.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年6月期第2四半期	66.39	-
2023年6月期第2四半期	63.56	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	7,913	6,525	82.5
2023年6月期	7,716	6,289	81.5

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 6,525百万円 2023年6月期 6,289百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年6月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 35.00	円 銭 35.00
2024年6月期	-	0.00			
2024年6月期（予想）			-	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,704	4.9	1,060	10.8	1,070	10.0	731	7.1	129.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年6月期2Q	6,140,850株	2023年6月期	6,140,850株
② 期末自己株式数	2024年6月期2Q	481,048株	2023年6月期	481,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年6月期2Q	5,659,802株	2023年6月期2Q	5,659,843株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種制限の緩和による社会経済活動の正常化やインバウンドの回復により、景気や企業業績は緩やかな回復基調にあります。

一方で長期化するロシア・ウクライナ情勢や緊迫する中東情勢、円安の進行に伴うエネルギー価格・原材料価格の高騰、中国経済の持ち直しの遅れなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要マーケットである焼肉業界におきましても、社会経済活動の正常化に伴う人流の回復により客足も順調に回復する傾向にあります。一方で、原材料価格やエネルギー価格の高騰による原材料価格の高騰、人手不足による人件費の上昇、物価上昇による消費者の節約志向の高まりなど依然として不透明な状況が続いております。

海外マーケットにおきましては、主要顧客となる飲食業界は、コロナ禍による厳しい行動制限が解除され需要の急回復が期待された中国市場の消費が伸び悩んでいるものの、北米や香港、台湾を中心に需要は堅調に推移しました。

このような状況下で当社グループは、国内におきましては核となる無煙ロースターの販売に加え、ダクト清掃やアミ洗浄サービスなどのアフターサービスも含め、焼肉店の繁盛店まるごとサポートとしてトータルの受注に努めてまいりました。また内装工事や空調工事などの付帯工事の受注にも注力した結果、その他工事の受注が堅調に推移しました。

海外マーケットに対しましては需要が好調な地域に対して集中的に営業展開を行い、台湾や香港、オーストラリアなどにおいて製品等の売上が好調に推移しました。一方で景気の回復が遅れる中国市場におきましては、高級店よりも低価格帯の店舗の出店傾向が強いことから、低価格帯の製品の販売を強化するなど中国子会社を通じて積極的な営業展開を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,767百万円(前年同期比14.9%増)、営業利益は577百万円(前年同期比10.8%増)、経常利益は584百万円(前年同期比9.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は375百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ196百万円増加し7,913百万円となりました。主な要因は、商品及び製品の減少23百万円、仕掛品の減少27百万円などがあったものの、現金及び預金が135百万円増加、電子記録債権が60百万円増加、投資有価証券が70百万円増加したことなどによるものであります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ39百万円減少し1,387百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加26百万円などがあったものの、未払法人税等が30百万円減少、長期借入金が30百万円減少したことなどによるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ236百万円増加し6,525百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当198百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益359百万円の計上、その他有価証券評価差額金の増加50百万円などによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ556百万円増加し2,768百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は398百万円の増加(前年同期は563百万円の増加)となりました。これは法人税等の支払224百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益570百万円の計上、減価償却費61百万円の計上などがあったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は393百万円の増加(前年同期は12百万円の増加)となりました。これは定期預金の払戻による収入571百万円などがあったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は237百万円の減少(前年同期は183百万円の減少)となりました。これは、配当金の支払197百万円、長期借入金の返済による支出30百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月4日の「2023年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,867,219	3,003,187
受取手形及び売掛金	709,274	706,157
電子記録債権	—	60,266
商品及び製品	97,182	73,394
仕掛品	99,634	72,512
原材料及び貯蔵品	391,902	422,118
その他	39,242	33,747
貸倒引当金	△68	△125
流動資産合計	4,204,387	4,371,260
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,147,607	1,114,607
土地	1,482,891	1,482,891
その他(純額)	334,821	333,688
有形固定資産合計	2,965,320	2,931,187
無形固定資産	15,949	10,014
投資その他の資産		
投資有価証券	417,830	488,813
その他	117,866	117,041
貸倒引当金	△4,900	△5,099
投資その他の資産合計	530,797	600,755
固定資産合計	3,512,067	3,541,957
資産合計	7,716,454	7,913,218

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103,406	130,287
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	238,464	207,734
役員賞与引当金	12,950	9,600
その他	646,566	627,090
流動負債合計	1,081,387	1,054,711
固定負債		
長期借入金	50,000	20,000
役員退職慰労引当金	49,741	51,819
退職給付に係る負債	147,293	146,500
その他	98,566	114,373
固定負債合計	345,601	332,693
負債合計	1,426,989	1,387,405
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	639,307	639,307
資本剰余金	595,887	595,887
利益剰余金	4,950,022	5,127,681
自己株式	△188,426	△188,426
株主資本合計	5,996,791	6,174,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	253,734	303,883
為替換算調整勘定	38,939	47,479
その他の包括利益累計額合計	292,673	351,362
純資産合計	6,289,465	6,525,812
負債純資産合計	7,716,454	7,913,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,278,324	3,767,029
売上原価	2,027,983	2,402,486
売上総利益	1,250,341	1,364,543
販売費及び一般管理費	729,408	787,102
営業利益	520,933	577,440
営業外収益		
受取利息	77	58
受取配当金	2,336	3,057
受取賃貸料	3,379	3,290
為替差益	6,808	—
補助金収入	—	1,674
その他	1,034	2,194
営業外収益合計	13,637	10,275
営業外費用		
支払利息	182	129
不動産賃貸費用	1,233	1,555
為替差損	—	1,049
その他	—	10
営業外費用合計	1,415	2,744
経常利益	533,154	584,971
特別利益		
保険解約返戻金	1,226	—
受取保険金	11,702	—
特別利益合計	12,929	—
特別損失		
固定資産除却損	1,276	14,794
特別損失合計	1,276	14,794
税金等調整前四半期純利益	544,807	570,177
法人税等	185,059	194,425
四半期純利益	359,747	375,752
親会社株主に帰属する四半期純利益	359,747	375,752

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	359,747	375,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,384	50,148
為替換算調整勘定	11,037	8,539
その他の包括利益合計	19,421	58,688
四半期包括利益	379,168	434,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	379,168	434,440
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	544,807	570,177
減価償却費	55,086	61,992
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△19	256
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,020	△3,350
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	△34,063	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,198	2,078
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,405	△793
受取利息及び受取配当金	△2,414	△3,115
支払利息	182	129
保険解約返戻金	△1,226	—
固定資産除却損	1,276	14,794
売上債権の増減額(△は増加)	△17,105	△57,125
棚卸資産の増減額(△は増加)	58,205	26,369
仕入債務の増減額(△は減少)	△76,532	26,553
未払消費税等の増減額(△は減少)	151,013	△89,849
その他	△43,806	71,345
小計	636,985	619,461
利息及び配当金の受取額	2,414	3,115
利息の支払額	△182	△129
保険解約返戻金の受取額	1,226	—
法人税等の支払額	△77,434	△224,363
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>563,009</b>	<b>398,084</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△501,621	△150,952
定期預金の払戻による収入	551,619	571,622
有形固定資産の取得による支出	△42,386	△29,341
投資有価証券の売却による収入	2,000	—
その他	2,589	2,192
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>12,201</b>	<b>393,520</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	120,000	120,000
短期借入金の返済による支出	△120,000	△120,000
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△51	—
リース債務の返済による支出	△12,373	△10,104
配当金の支払額	△141,366	△197,648
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△183,791</b>	<b>△237,753</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,307	2,785
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	399,726	556,637
現金及び現金同等物の期首残高	1,633,635	2,211,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,033,362	2,768,527

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。